

## 内外交差点

# 新たなサービスの創出を X Taxiとは何者か? ⑫

清川 晋氏 (X Taxi 代表理事) 12人目/12人



コロナ禍によって人流が止まり、かつてないダメージが多くを企業を襲いました。タクシー業界においても例外ではなく、移動サービスを提供する我々の業界は直撃を受けたと言っても過言ではありません。その様な状況の中でも、アクションを起こし、希望を見出そうとする有志たちの声を受けて生まれたのが、X T a x i (クロスタクシー) という組織です。

X T a x i の前身の活動はオンライン上での情報共有でした。前代表の近藤 (洋祐) 氏の声がけに応じ、多くの企業経営者がオンライン上に集いました。皆、困難な時こそ情報の共有が重要であることを知っていたからです。コロナ禍が長引く中で、そうした活動を継続させるべく、有志が組織化する事を決め、2020年8月に正式に一般社団法人としてスタートしました。私もチャーターメンバーとして組織化のお手伝いをさせて頂き、京都で初めて理事の顔合わせをした時に、安堵感にも似た心強さを抱いた事を覚えています。

コロナ禍に対応する為の車両装備や対策、資金繰りや補助金の申請と活用方法。苦境を乗り越える知恵、その他多岐にわたる情報が、オンライン上で気軽に交換されました。その活動は瞬く間に風のように広がり、全国の経営者を繋ぐ架け橋となりました。情報共有の場が、生き残る術を提供し、再生の機会を生み出し、逆境に打ち勝つための新たな道を切り拓いたのではないのでしょうか。私自身、メンバー企業の経営方針やDXの推進状況を聞き、自社なりに解釈して実行する事ができました。

X T a x i は単なる組織ですが、望めば様々なも

のを得られる組織でもあります。所属する経営者たちは、危機や大きな変化に対して孤立することなく、共に立ち向かう仲間を得たと言っても過言ではなく、そのネットワークは時代の変化に対応するための強固な土台となっています。

時代は絶え間なく変化し、企業はその変化に対応する事を求められています。人口減少やコロナ禍によって働き手が減り、鉄道やバス、タクシー等地域の交通インフラを維持する事が困難な地域が発生。タクシー業界の対応が問われているこの状況で、「現状維持」が良いはずはありません。発想の転換や新たなサービスの創出が求められています。

そしてタクシー業には公共交通としての役割が今まで以上に求められています。故にX T a x i の活動は、所属企業の経済的な成功だけではなく、社会的な意義も持っていると考えております。経済の活性化や情報共有だけではなく、地域の雇用創出、コミュニティの維持、さらには環境保護や災害対応等の社会貢献活動など、様々な側面から活動する事を検討しています。

タクシー事業を取り巻く環境は今後厳しくなる事も予想されています。しかし、ありがちな言葉かもしれませんが、ピンチはチャンスと表裏だと言われています。X T a x i を活用し、新たなサービス、新たなマネジメント、新たなアクションを生み出し、それぞれの地域の公共交通として、地域住民になくてはならない企業となる為の一助にして頂きたいと考えております。



\* 24年2月の総会で清川氏は全会一致で代表理事に選出された。

一般社団法人 X Taxi

問い合わせ先: info@xtaxi.jp

ホームページ: <https://www.xtaxi.jp/>

